



岡山市立福南中学校通信 発行：校長 小野 大

# 素晴らしい卒業式をありがとう

## 在校生が頑張ってくれたからこそその式だった！

3月13日10時から第42回卒業証書授与式を挙行了しました。全ての在校生が見守る中、担任との最後のやりとりとなる呼名では、壇上で、保護者に向かってはっきりした声で返事をする生徒が何人もいたことがとても嬉しかったです。どの生徒の返事にも、育ててくれた保護者や一生懸命関わってくれた先生方への感謝の気持ちを込められていた様に感じました。

校長から卒業生一人一人に卒業証書が手渡される時の一人一人の表情は、照れてはいたけれど、3年間福南中でがんばった、卒業前の大きな壁であった入試でも全力を尽くしたという表情にあふれていました。

さて、その素晴らしい卒業式では、主役であ

る卒業生はもちろんがんばってくれていたのですが、一番大切なのはその式の雰囲気をつくる在校生の態度なのです。在校生が卒業式にふさわしい**凛とした雰囲気**を全員で作ることができなければ、式そのものが残念なものになります。今年度の式は、在校生の凛とした雰囲気や卒業生を送る言葉、在校生の歌「絆」で、動静をしっかりわきまえて、式の雰囲気を盛り上げてくれました。校長として、この雰囲気の中で、卒業式を行うことができたのは、この上ない喜びです。

ご来賓の皆様からとてもよい式でしたねと声をかけて頂きました。



卒業証書授与

### 学校長 はなむけの言葉 抜粋

(前略)

義務教育を終えた皆さんは、それぞれの進路でこれからの人生を歩んでいきます。今後も急激な変化を続ける社会で生きていく上で、自分がどう生きるかが問われます。そこで、これからの皆さんの生き方の指針の一つとなる人物についてお話ししたいと思います。その人物は、多くの童話を残した**宮沢賢治**です。賢治が生まれ育った岩手県は、現在でも東日本大震災の爪痕が残り、復興をがんばっている地域ですが、昔から、津波や冷害など自然災害にたびたび見舞われ、人々が苦しめられ続けた地域です。賢治自身は裕福な家庭に生まれたのですが、生活に苦しむ農民の姿を見て、小さい頃から「この人たちを助けたい」と強く心に思うようになったのです。成人した賢治は、農民の生活を安定させるために、土地改良や農業技術改善の方法などを、花巻農業高校で教えながら、実際に農民たちの生活改善の支援を続けていきました。その傍ら、様々な想いを童話という形で表現していったのです。農民たちのために誠心誠意奔走した賢治は、その疲れから病気になり、わずか37歳という若さでこの世を去りました。しかし、亡くなる数時間前にも訪ねてきた農民の土地改良に関する相談に、きちんと正座して対応したそうです。

災害からの復興支援をきっかけに、一人一人では弱い人間同士の支え合いの大切さや必要性が、強く、そして広く、意識されるようになりました。それは、『善意の花』として、日本全国で見られるようになり、賢治の生き方に多くの人が共感しているのです。

これから皆さんが生きていかなければならない予測困難な社会では、さまざまな難局に直面するでしょう。その時こそ、それを切り抜けていくために、何よりも必要なものは、**人と人の心の『絆』**なのです。自分が**他人からいただいた支援に感謝し、感謝の気持ちを、出来る範囲でお返ししようとする**ことが、**人と人の『絆』の原点**であることを常に心に置いておいてほしいと思います。人と人が心の根っこを絡ませ合い、しっかりと支え合っていく時、きっと沢山の『善意の花』が咲き、「絆」という形になっていくと、確信しています。

皆さんは、すでに『善意の花』を咲かせて絆を作ることができました。昨年の西日本豪雨の災害が起きたときに、夏休みまであとわずかという中で、募金活動や清掃用のタオルの寄付活動に取り組み、直接、真備中学校と真備東中学校に届けました。そのとき、訪問させて頂いた校長先生から、「今一番欲しいものは**生徒全員の笑顔**です」と伝えられた言葉に、何とか私たちにできる事で応えたい、と一生懸命考え、その

想いを實現させました。それは、全クラスで取り組んだ「**真備を元気に**」という、復興応援ビデオレターです。福南中のみんなだからこそ、できた贈り物です。物質的なものだけでなく、皆さんの温かい応援する気持ちを、両中学校に届けることができました。皆さん一人一人の善意が、花になり、心の絆に育ち、両中学校から、「元気に活動できるようになった」というお便りを頂いています。私は、この取り組みに、大変感激し、皆さんの『善意の花』を、ここ福南の地で、見つけることができたことを、誇りに思っています。

これからも皆さんの周りには、こういった仲間や地域の方や家族の方がいてくれます。嬉しい時もつらい時も、一人ではないことを思いだし、喜びは分かち合い、たとえつまづいたとしても、決してあきらめないことを願っています。

皆さんのふるさと福南は、先人の方々が自らの手で切り拓いた地域です。だからこそ、地域の方は、みんなでこの地域を築くために、互いの絆を大切にし、その一員である皆さん一人一人の成長を温かく見守ってくださっています。ここ福南で育つ皆さんが、将来、この地域をはじめ他の人や社会のために自分の力を発揮できることを期待しています。

(後略)



卒業生を送る言葉では、卒業生への感謝と生徒会の新しいスローガンを元に福南中の伝統を受け継ぐことを誓いました。



心を一つに卒業生への感謝の気持ちを込めて歌った『絆』

素晴らしい歌声でした！在校生の皆さんありがとう。何人ものご来賓の方からも褒めて頂きました。

